



●国鉄1047名解雇撤回! 労働法大改悪—労組なき社会化を許すな! ●中国—イラン侵略戦争止めよう! 改憲阻止! 高市政権打倒!

韓米など海外の労組代表も多数参加!



全国労働者総決起集会

集会終了後、浅草の街をデモ行進

日時 2026年11月1日(日) 正午～

場所 浅草公会堂ホール

呼びかけ 国鉄千葉動力車労働組合/国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動/改憲・戦争阻止! 大行進



事務局 千葉市中央区要町 2-8 D C 会館 ☎ 043(222)7207 FAX 043(224)7197
全国労組交流センター 東京都台東区元浅草 2-4-10 五宝堂 5F

時代の分岐点に立ついま、闘う労働組合の力を取り戻そう！

一戦争・改憲・労働法制解体を打ち破り、階級的労働運動の再生へー

青年や女性たちが続々と闘いに立ち上がりはじめています。戦争への危機感、時代への怒りが彼ら彼女らを立ち上らせています。国会前は数万の若者の怒りの声が溢れ、それをおしつぶそうとする右翼、秩序の枠の中におし込めて雲散霧消させようとする警察権力との攻防が続いています。時代が動きだそうとしています。本来であればこのときに、その闘いを支え広げ、全国につなげ、継続する力を与えなければならない労働組合が闘いの先頭に立つことができていません。それどころか連合は「成長戦略」と称して、政府や企業と一体となって大軍拡－防衛関連産業の全面的な拡大を進めています。今こそ闘う労働組合を甦らせなければならない。私たちはその強い決意をこめてこの集会を呼びかけます。

■改憲阻止・戦争阻止！ 国会前に溢れる怒りを労働者の団結へ

「台湾有事」を掲げた戦争が社会をすべてをのみ込んで進もうとしています。沖縄－南西諸島の軍事要塞化、国力の国防への集中・経済の軍事化、高唱される「継戦能力の確立」、スパイ防止法制定、天皇制の前面への登場、中国脅威論や排外主義の洪水、改憲発議への突進。今こそ労働組合が「反戦」の先頭に立たなければなりません。アメリカ帝国主義が中国を「最大の脅威」として政権転覆を狙う侵略戦争にふみだしたことが一切をつき動かしています。イラン侵略戦争、ガザ・パレスチナ、ベネズエラ、ウクライナ。トランプは世界を戦争にひきずり込もうとしています。

高市政権はそれと一体となって「強力な拒否防衛体制を構築する」と言って戦争に踏み出しました。「平和擁護」をこえて、デモやストライキ、戦争を止める労働者の大反乱をつくりだそう。戦争を止め社会を変える力は労働者の団結した闘いの中にこそあります。11月労働者集会は「東京－ソウル国際共同行動」として闘われてきました。韓国・民主労総ソウル地域本部をはじめ世界各地から労働者・労働組合が結集します。今年の集会は「国境をこえた労働者の団結で戦争を止めよう！」のスローガンの下に開催されます。

■国鉄闘争の勝利を切り拓き、11月集会運動の「新たな出発」を！

11月労働者集会は、1987年国鉄分割・民営化－1989年総評解散・連合結成をきっかけに始まりました。戦後日本労働運動は一敗地にまみれ労働者の権利は地に落ちていきました。現場の力を集め、つなげて労働運動を再生しよう。それが呼びかけの精神でした。その決意は全国の仲間たちの力に支えられ、多くの困難を越えて今日まで絶えることなく継続されてきました。

その原点には、動労千葉が40人の解雇者を出しながら分割・民営化攻撃に対しストライキに立ち上がり、団結を守りぬいた闘いがあります。私たちは今も民営化で解雇された1047名の解雇撤回闘争を闘い続け、ついにJRが解雇者の選別を直接指示していた証拠をつかみました。しかし裁判長は、その首謀者の証人採用を明言した途端に高松に飛ばされ、新裁判長の手で証人採用が却下されるなど闘いは正念場です。

■11月1日、浅草公会堂へ結集を！

労働法制定80年の2027年に向けて、労働基準関係法の大改悪が画策されています。労働基本権（団結権、団体交渉権、争議権）を事実上否定し、労働法によって労働組合を駆逐し、「労組なき社会」をつくろうとします。戦時型労働政策への転換が進められています。その先兵の役割を果たしているのがJR資本です。戦後最大の労働運動解体攻撃としての国鉄分割・民営化攻撃との攻防は今も終わっていません。

今年の11月集会は、日比谷野音の改修工事のため屋内集会になります。時代の激動に立ち向かう闘いの方向性を再確立し、11月集会運動の本格的発展への新たなスタートをきる集会としてかちとりたいと決意しています。怒りの声は積み上がり、労働運動再生の条件は間違いなく煮つまっています。全国の仲間たちの結集を心より訴えます。

